

## 第7回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 令和5年9月28日（木曜日）  
午前10時00分から午前11時10分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎3階会議室
- ・ 出席委員 宇野誠教育長、鈴木英夫教育長職務代理者、野尻正人委員  
白須康子委員、山崎亜由子委員、矢光重敏委員
- ・ 出席職員 卯月教育次長兼学校教育課長、山口社会教育課長  
和智こどもの学び支援担当リーダー  
藤本学校づくり担当リーダー  
西山社会教育担当リーダー、岸野スポーツ振興担当リーダー
- ・ 傍聴人 な し

### 〔会 議〕

#### 1 開会

##### 【教育長開会宣言】

#### 2 会議録の承認

職員が、令和5年度第6回教育委員会定例会会議録を朗読し承認された。

#### 3 教育委員会報告

教育長から、令和5年8月24日から令和5年9月28日までの教育委員会活動が報告された。

#### 4 議事

##### 議案第14号 就学指定学校変更・区域外就学について

（ 非公開 ）

〔説明〕 和智こどもの学び支援担当リーダー

##### 【原案どおり決定】

##### 議案第15号 令和4年度大月市教育委員会の教育行政点検・評価について

〔説明〕 卯月教育次長

こちらにつきましては、前回資料をお渡ししましたので、今回は質疑やご意見等をいただきたいと思います。そして、次回の教育委員会でご承認をいただき、その後、議会の方へ報告する予定となります。前回資料をお渡ししましたので、今回は資料を添付していませんが、この後意見をいただきたいと思います。

#### 宇野教育長

それでは、前回お配りした資料を見ていただいているかと思しますので、お一人お一人順にご意見をいただきたいと思います。この場でお答えできる箇所はお答えし、できない箇所は、それを取り入れながら検討し、次回承認していただけるようにしたいと思います。

#### 鈴木教育長職務代理者

評価はこれでいいと思います。あとは、評価に直接関係しない細かい助詞や言い回しの問題なので、のちほど事務局にお伝えしたいと思います。

#### 野尻委員

語句の問題は別にして、評価については特に変更はございません。

今年度の評価を見させていただいて、基本計画に沿って多くの項目をできるだけ評価していこうという姿勢が見られて、またそういう項目もたくさんありますので、事務局の方で大変ご苦労いただいているという印象を受けました。特に社会教育についてはAという評価がなかなか難しいですね。範囲が広い関係もあって、どこまでがベストかということで評価しづらく、Aにはできない部分もありいたたまれない部分もありますが、大変よく活動されているし評価についてもよくまとめていると思います。

#### 矢光委員

読ませていただいて、色々なことを一生懸命やっただけだと思っています。ただ、今回1つだけCという評価があるのですが、これは3ページの2のIIの2(1)ですが、何故Cになるのか教えていただきたい。Cというと「概ね達成している」という概念で評価されていると思うのですが、Bの「ほぼ達成している」とCの「概ね達成している」という評価で、「ほぼ」と「概ね」とはどう違うのかということも気になるし、本来Cであればダメと判断した方が次に向かって目標値を決めて達成する意欲がでてくると思います。「達成していない」という評価はDしかないのです、これがCになった原因の所在はどこにあるのかとか、そのへんをもう少し細かく教えていただきたいし、やはり大項目中項目小項目と立てて、その小項目の中でさらに具体的な項目を立て、これができている、これができていない、だからDだとかCだとか評価していった方が次の手を打つステップとして非常に役に立つと常に思っていますので、そういうところで、細かいところの原因の所在がどこにあるのかをしっかりとつかんでいく必要があると思いました。

#### 西山社会教育担当リーダー

13ページの評価のところを書いてあるとおり、県がやっている事業のご案内はしているのですが、市の中央公民館としての事業については学び直しというところに絞り込んで実施ができていないし、なるべく多くの人に参加していただきたいということもありますので、こういう評価の指標でいくとCかなと思ってこのような形で評価しています。

#### 宇野教育長

少し厳しくつけたということですね。まだそこまでいっていないという説明です

が、よろしいでしょうか。

矢光委員

はい。大月短期大学で聴講生の募集をしているということですが、そのデータを参考にどのへんの世代が申込んでいるかとかを見ながら、この世代をターゲットにして積極的に学び直しを働きかけてみようと、データをベースにした対応策が作れると思うので、それをしっかりやっていただければもっと評価が上がるのかなと思っています。よろしくお願ひしたいと思います。

卯月教育次長

ここの項目に関しては、次回の基本計画の中で検討し直さなければいけないのですが、学び直しの項目については大月市としては大月短期大学が担っている部分が多く、基本計画の段階で短大を記載していること自体が違うので、今後、社会教育がどう関わっていくかということをもう少し細かく設定していく必要があると思っています。実際、ここにもあるように、今は参考として短大のことを書いている状況なので、そこに矢光委員がおっしゃったようにデータを基にどんなことに関わっていけるのかを、短大の状況を聞きながら新しい基本計画の中ではやっていきたいなと思っています。

この評価はまた来年も再来年も同じものを使いますが、今は短大がやらなければやれない状況になってしまっているの、何か絡んでいくように計画を立てそこを評価していくのかなと思っています。また、CからCという評価ですが、多分一昨年はコロナ禍で聴講生を募集しなかったの、その観点から評価すると短大の実績を使っているのであればCがB評価になる可能性もあるのですが、絡んでいかなかったの、Cのままかなという気がします。

宇野教育長

もともと大月短期大学については教育委員会の組織ではないので、今、次長がいうように絡んでいくというところでどういう取り組みができるのかをこれから検討したいと思います。ありがとうございました。

白須委員

私は4点あるのですが、まず質問からお願いします。16ページの下のところ、市単講師の「単」が赤字で今回変更になっているということですが「担」ではなく「単」の字を使うのですか。

卯月教育次長

どちらも使えます。市単独という意味のこの「単」と市負担という意味の「担」とがあり、どちらも間違っていないのですが、県費という言葉がよく使われていて、それは県の費用という意味ですが、その県費に対して市単独費用となるので「単」の方がいいと思い変更しました。

白須委員

わかりました。ありがとうございました。

それでは、次に10ページの下から2つ目の段落になります。「9か月児健診時

に、絵本を開く楽しい体験をプレゼントし、赤ちゃんと保護者が絵本を介してふれあうひとときを持つ」とあるのですが、これだと体験自体をプレゼントする感じですが、実際は絵本をプレゼントしていると思うので、例えば「9か月健診時に絵本をそれぞれ何冊ずつプレゼントし」というようにした方がいいのではないかと思います。

体験をプレゼントしているのではなく、実際に絵本を配付しているのであれば、何冊本をプレゼントしているのかを具体的に書いた方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

西山社会教育担当リーダー

そうですね。実際は絵本をプレゼントし持ち帰ってもらって見ていただくというところをこういった書き方にしましたが、正確に伝えるために「絵本を2冊プレゼントし」という表現に変えたいと思います。

宇野教育長

それでは、「楽しい体験をするために、絵本を2冊プレゼントし」というふうに直してもらいたいと思います。

白須委員

次は、12ページの上から4段落目の図書館関係になります。「令和4年度は申請がなかったものの」とありますが、ここは「図書館においても要請があれば読み聞かせ等の出前講座を行う体制が整っているが、令和4年度は申請がなかった」というようにしたらいいと思いますがいかがでしょうか。

西山社会教育担当リーダー

ご意見いただいた書き方がいいと思いますので、変更したいと思います。

白須委員

あと、このページは他にも色々手を入れたので、あとでお伝えしたいと思います。

宇野教育長

では、担当と直接話をしてください。お願いします。

白須委員

それから、14ページの下の方の施策項目「魅力ある学校を支える指導体制の充実」のところですが、評価が前年度「A」当年度「A」となっていますが、私は、ここは当年度「B」にしたいと思っています。

理由は2段落目の国際理解教育の外国語指導助手のところ、大月市のALTの先生方はとても意欲的に教育にかかわってくださるということで、ここにあるようなコメントをいただいているということは承知しているのですが、今年5月の学校訪問で猿橋中学校と大月東中学校の英語の授業を見せていただきALTの先生と英語の先生が打ち合わせの時間をとることがありますかと伺った時に、皆さん忙しいのでなかなかその時間をとることができないということをおっしゃっていました。また、どこかの小学校で同じ質問をしましたが、やはり同じような回答

が返ってきました。今回、中学校のALTの先生が体調を崩していらっしゃるということでお休みされていましたが、英作文の添削のようなものは非常に丁寧にやってくださっているので助かるというお話も伺ったので、英語の先生とALTの先生とで連携をとって授業を行うという点でも、もう少し頑張ってもらってもいいかなという気がしました。

それから、これを読ませていただいている、すごく昔のことを思い出したのですが、大月市は随分前、小俣市長さんとか西室市長さんの時代にオーストラリアのハービー・ベイ市というところと姉妹関係を結んでいるはずですが、私はハービー・ベイの方がいらしてイベントをした時に通訳でかかわらせていただいたことがあったのですが、ハービー・ベイとの姉妹都市の提携は、その後どうなっているのかをお伺いしたいです。

この国際教育ということに関して、せっかくすばらしい関係があるので、ぜひとも小学生、中学生の子どもたちとハービー・ベイの子ども達とインターネットを介してビデオレターのやり取りをすとか、昔、大月市からもかなりたくさんの市民の方がハービー・ベイ市を訪れるという経験をしていらっしゃるの、そういった市民の方々の交流をぜひ復活させていただきたいと思っています。

せっかくある昔のレガシーを応用しない手はないと思うので、ハービー・ベイ市と大月市の関係がその後どうなっているのか、すぐにはお答えいただくことができないかもしれませんが、次の定例会までにどういう経緯を辿っているのかを教えてくださいたいと思います。

#### 卯月教育次長

かなり昔のことですが、確か数年間は大月市からも視察団が行ったりハービー・ベイ市からも来たりと交流があったと思います。当時、仁科先生との関係で始まったことだと思いますが、教育委員会は姉妹都市の提携の部分にはかかわっていないのであまり把握をしていないのですが、その関係で外国人講師、AETとか県ではJETというのをやっていて、そちらにも行っていたりうちの方で宿舎を用意したりして、今ほどはかかわってはいませんが、外国語に触れ合う程度の活動を始めたのが、その時だったと思います。

ハービー・ベイ市との関係がどうなったかというのは、ここではお答えできませんので次回までに確認します。

#### 宇野教育長

評価については、「B」だと後退してしまうことになりまして、ずっと見ていてALTも頑張ってくれているし、3校の交流でオンラインを使ったり色々なことをし始めたりしているので、私個人の意見ですけれど、下げるのは忍びないなと思っています。皆さんの意見はどうでしょうか。

#### 鈴木教育長職務代理者

これまでの話を伺ってきましたが、頑張ってもらっていただいているので「A」のままでもいいのではないかと思います。

#### 白須委員

そうですね。私も厳しいことを言っているのは自分でもわかっているの「A」

でも構わないのですが、でも同じことをやっていたのではダメで、昨年度が「A」だったから今年度も「A」というのは通用しないという気持ちでやっていく必要があると思います。もうコロナも落ち着いてきましたし、今年度の評価を来年度する時にはもう少し厳しくお願いしたいです。やはりプラスアルファで新しい年には何か新しいことを始めていくことが大事で、ハービー・ベイ市との交流が復活できれば、活動の幅が広がっていくと思います。

今のALTの先生方は非常に意欲的だということなので、もっと助けていただいて子どもたちとインターネットでやりとりするみたいなものを構築するだとか、まずは何か始めることが大事で、始まってしまえば、その後はスムーズに進んでいくのではないかと思うので、ぜひハービー・ベイ市との関係をなんとか復活させて国際理解教育に資するようになっていっていただきたいと思います。お願いいたします。

#### 山崎委員

赤字のところは昨年度と違うということで、よく読ませていただきましたが、とてもわかりやすくなっていて良かったです。

昨年度はコロナ禍で約3年続いたわけですが、その中でできることをよく考えて学校教育も社会教育も子どもたちや地域の方のために本当によくやってくさっているの、私はB評価のところもAでもいいのではないかと思うところがたくさんありました。大月市独自でやっているサマースクールや楽習サロンはすごく有難いものだし、給食も子どもたちの意見も取り入れて色々なものを考えて作ってくださっていますので、もっと評価を上げてもいいのではないかと思います。

#### 宇野教育長

皆さん、よく見ていただいて、貴重なご意見をありがとうございます。事務局の方から何かありますか。

#### 卯月教育次長

前回も申し上げたのですが、今の評価の方法が明確ではないということもあり、次の基本計画については来年度コンサルタントを入れて、もう少し評価のしやすいものを作りたいと考えていますので、その費用は新年度予算に計上していきたいと考えています。

この評価が5年間、目標値に対してAが80%以上、Bが60%以上という形をとっていますので、当初設定した目標に対して80%いつているかいつていないかだけの評価になり、毎年同じことをやっても同じように良い評価になってしまうということがありますので、それも踏まえながら新しい計画では、年次計画で段々上がって行って最後に100%になるようなやり方になるものをまた考えたいと思います。

これも前回申し上げましたが、その基本計画についても教育委員会でお諮りすることになりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

#### 宇野教育長

少し補足をさせていただくと、山梨県が今年教育大綱を策定します。来年度公表になりますので、それを受けて1年遅れで大月市は基本計画を策定します。その時にコンサルタントを入れてくれるということですから、その時には新たな基準で評

価ができるようになると思います。

ただ、ご承知おきいただきたいのは、それを来年作って、その次の年からそれに基づいてやっていくので、再来年度までは今の評価の方法でいくこととなります。あと2年はこの評価方法ですので、よろしくお願いします。

それでは、この議案については、次回教育委員会までに修正を行い再度お諮りして、10月に決定したいと思います。語句等の修正についてはこの後個別にお話をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

### 【継続審議】

## 5 その他

### (1) 第2回管理主事地教委訪問について

( 非公開 )

〔説明〕 宇野教育長

### 【了知】

### (2) 全国学力・学習状況調査結果について

( 非公開 )

〔説明〕 卯月教育次長

### 【了知】

### (3) 山梨県学力把握調査集計結果について

( 非公開 )

〔説明〕 卯月教育次長

### 【了知】

### (4) 令和6年度県教育施策及び予算に関する要望書について

〔説明〕 卯月教育次長

こちらは県内各教育委員会から提出されたものを基に山梨県市町村教育委員会連合会の方でとりまとめ、令和5年8月31日付けで山梨県教育委員会に提出したものの写しになります。

内容につきましては、第3回定例会の際に大月市教育委員会からの要望としてご承認いただいたものを北都留地区教育委員会連合会に提出しております。また、その後、北都留地区でとりまとめたものを第4回定例会においてご報告しましたが、それを山梨県市町村教育委員会連合会に提出したものの結果がこちらの要望書になります。

こちらにもまたご覧いただきたいと思います。

以上、報告になります。

### 【了知】

- ・ 10月26日（木）午後1時30分から、令和5年度第8回教育委員会定例会を開催することを確認。

## 6 閉会

【教育長閉会宣言】